

手術・麻酔 説明同意書（脾全摘術）

- 日程 令和2年10月14日
- 診断 慢性脾炎、感染性脾嚢胞
- 麻酔 全身麻酔、硬膜外麻酔
- 手術術式 脾全摘術
- 内容 胃の約3cm、十二指腸、脾臓、胆嚢、胆管を切除します。その後空腸と胆管、空腸と残胃を吻合します。
- 手術に伴う危険性 手術に伴う主な合併症として、出血、感染、膿瘍形成、縫合不全、胆汁瘻などがあります。場合により再手術を行うこともあります。その他、糖尿病の発症、創感染、心血管合併症、肺炎、下肢静脈血栓、肺梗塞、術後せん妄、術後腸炎などの可能性もあります。また、吻合部の狭窄や腸閉塞が時に出現することもあります。
- 入院期間 推定される入院期間として、術後約4週間程度と予想されますが、合併症などが生じた場合は予定より長くなります。
- 治療の同意撤回 この治療に対する同意は、手術までいつでも撤回できます。
- その他 術後看護・リハビリテーション・食事摂取方法などについては、看護師、理学療法士、栄養士から随時説明があります。
- 追加事項 手術を行わなかった場合、食事摂取不可能となります。他の治療法はございません。

令和2年10月9日

患者氏名

主治医

木村 光一



(署名の場合、捺印不要)

同席者

(職種:)

私は、本日担当医より上記手術・麻酔について十分な説明を受け、その内容について納得、理解いたしました。よって、それらの手術・麻酔を受けることに同意いたします。

公立学校共済組合 九州中央病院長 前原 喜彦 殿

2020年 10月 9日

本人氏名

(署名又は記名押印)

代理人氏名

(署名又は記名押印)

(代理人の場合は、本人との続柄 _____)

手術・麻酔 説明同意書（脾体尾部切除術）

- 日程 令和2年10月14日
- 診断 慢性脾炎、感染性脾嚢胞
- 手術術式 脾体尾部切除および脾臓摘出術
- 麻酔 全身麻酔、硬膜外麻酔など
- 内容 脾体尾部に膿瘍があります。病変の部位・範囲・程度に応じた脾切除を行います。また、脾尾部に近接する脾臓も合併摘出します。手術所見によっては、術式の変更や追加を行うこともあります。
- 治療を行なわなかった場合に予想される経過 感染性脾嚢胞の再燃によって食事摂取が不可能となる可能性があります。
- 手術に伴う危険性 手術に伴う主な合併症として、脾液瘻（ときに腹腔内出血、仮性脾嚢胞、膿瘍などの原因となります）、糖尿病、出血、免疫力低下、脾臓摘出による発熱などがあります。その他、感染（創、腹腔内、敗血症など全身性の感染）、心肺血管合併症（心不全、心筋梗塞、不整脈、肺炎、下肢静脈血栓、肺梗塞、脳梗塞など）、術後腸炎など他臓器の炎症、薬剤アレルギー、術後せん妄などの可能性もあります。また、術後腸閉塞や腹壁癒着ヘルニアなどが時に出現することもあります。この他の合併症も生じる可能性はあり得ます。
- 入院期間 推定される入院期間として、術後約2～3週間程度と予想されますが、合併症などが生じた場合は予定より長くなります。
- 代替法 手術以外の治療法はございません。
- 治療の同意撤回 この治療に対する同意は、手術までいつでも撤回できます。
- その他 術後看護・リハビリテーション・食事摂取方法などについては、看護師、理学療法士、管理栄養士から随時説明があります。脾臓摘出による免疫力低下に対する予防として、肺炎球菌ワクチンの投与が保険診療で受けられます。
- 追加事項

令和2年10月9日

患者氏名

主治医 木村 光一

(印)

(署名の場合、捺印不要)

同席者

(印)

(職種:)

私は、本日担当医より上記手術・麻酔について十分な説明を受け、その内容について納得、理解いたしました。よって、それらの手術・麻酔を受けることに同意いたします。

公立学校共済組合 九州中央病院長 前原 喜彦 殿

2020 年 10 月 9 日

本人氏名

(署名又は記名押印)

代理人氏名

(署名又は記名押印)

(代理人の場合は、本人との続柄)